

執筆された方々

- 明石三郎(あかし・さぶろう) 関西大学名誉教授。(元学長) 東北帝国大学法文学部卒。大正四年一月生。
- 東 元治(あずま・もとはる) 関西大学広報課長。関西大学大学院(法)修了。昭和七年三月生。
- 飯田正一(いいた・まさかず) 大東文化大学講師。早稲田大学文学部卒。明治三十四年三月生。
- 井上正一(いのうえ・まさかず) 東大谷高等学校教諭。堺女子短期大学講師。関西大学大学院(文)修了。昭和九年三月生。
- 入野昌志(いりの・まさし) 関西学園常務理事。関西大学経済学部卒。大正九年一月生。
- 岩本 慧(いわもと・さとる) 関西大学名誉教授。関西大学法文学部卒。大正三年十月生。
- 大場義之(おおば・よしゆき) 関西大学年史資料編集室室付課長。関西大学文学部卒。昭和六年三月生。
- 小川 悟(おがわ・さとる) 関西大学文学部教授。関西大学文学部卒。昭和五年一月生。
- 小川雅弥(おがわ・まさや) 関西大学工学部教授。大阪大学工学部卒。大正七年七月生。
- 狩野吉清(かのう・よしきよ) 関西大学年史資料編集室主事。関西大学文学部卒。昭和五年二月生。
- 神屋敷民蔵(かみやしき・たみぞう) 関西大学年史資料編集室嘱託。関西大学一〇〇年史編纂委員・専門委員。関西大学専門部卒。明治三十六年十一月生。
- 亀井 清(かめい・きよし) 関西大学工学部教授。旅順工科大学卒。大正十三年一月生。
- 熊 博毅(くま・ひろき) 関西大学年史資料編集室主事。関西大学大学院(文)修了。昭和三十一年二月生。
- 重本利一(しげもと・としかず) 故人。(元関西大学文学部教授) 関西大学文学部卒。昭和四年七月生。
- 篠原茂一(しのはら・しげかず) 関西大学年史資料編集室主事。関西大学一〇〇年史編纂委員会専門委員。関西大学法学部卒。大正十五年七月生。
- 苗田香融(そのだ・こうゆう) 関西大学文学部教授。関西大学一〇〇年史編纂委員・専門副委員長。京都大学大学院(文)修了。昭和四年一月生。
- 田中行雄(たなか・ゆきお) 関西大学工学部教授。関西大学一〇〇年史編纂委員・専門委員。大阪大学工学部卒。大正十一年十月生。
- 塚口義信(つかぐち・よしのぶ) 堺女子短期大学教授。関西大学大学院(文)修了。昭和二十一年十二月生。
- 鉄井良男(てつい・よしお) 関西大学創立一〇〇周年記念事業事務局参与。関西大学専門部卒。大正八年九月生。

中山 巖（なかやま・いつき）

（元関西大学図書館天六分館事務長）。関西大学経済学部卒。明治四十三年二月生。

伴 義孝（ばん・よしただ）

関西大学文学部教授。関西大学商学部卒。昭和十五年五月生。

日野 篤（ひの・あつし）

関西大学年史資料編集室嘱託。関西大学第一中学校講師。関西大学大学院（文）修了。昭和三十六年九月生。

平原豊弘（ひらはら・とよひろ）

関西大学文学部教授。関西大学商学部卒。昭和二年一月生。

広岡英雄（ひろおか・ひでお）

関西大学文学部教授。関西大学法学部卒。大正七年四月生。

広瀬捨三（ひろせ・すてぞう）

関西大学名誉教授。（元学長） 関西大学法学部卒。明治四十四年

九月生。

藤本 是（ふじもと・ただし）

関西大学文学部教授。関西大学法学部卒。大正九年二月生。

藤原純一（ふじわら・じゅんいち）

東大谷高等学校教諭。関西大学大学院（文）修了。昭和二十五年七月

生。

松谷 勉（まつたに・つとむ）

関西大学商学部教授。関西大学大学院（経）修了。昭和八年三月生。

森田由記（もりた・ゆき）

関西大学年史資料編集室嘱託。関西大学大学院（文）修了。昭和三十

五年十二月生。

山口清二（やまぐち・せいじ）

関西大学総務局主事。（校友会出向） 関西大学法学部卒。昭和三年

一月生。

横田健一（よこた・けんいち）

関西大学文学部教授。関西大学一〇〇年史編纂副委員長・専門委員長。京都帝国大学大学院（文）修了。大正五年九月生。

吉永登（よしなが・みのる）

関西大学名誉教授。関西大学専門部卒。明治三十九年一月生。

（敬称略・五十音順）

あ と が き

創立百周年を記念して編纂される『関西大学百年史』は、通史編二巻、人物編一巻、資料編一巻、年表・索引編一巻のすべて五巻から構成される。通史編は、創立いらい今日にいたる関大百年の歩みを時代の流れに沿って概観するものであるが、人物編は、創立者や歴代学長・理事長をはじめ、本学史上顕著な功績のあった役員・教職員と、本学に学んだ校友のうち、社会の各方面に活躍し、母校の名声をあげることに寄与した人々、合わせて百十六名の伝記を収めた。通史編をタイトとし、人物編をヨコイトとすることによって、本学史のゆたかな全体像を浮かび上げようとしたものである。

関大百年の歴史をかえりみると、はじめは司法省法学校出身の数名の司法官が公務の余暇をさいて好学の青年たちに法律知識を教授した寺子屋時代から、今日では千人の専任教職員と二万四千余人の学生を擁し、十八万余を超える卒業生が社会の各分野で活躍する一大総合大学にまで発展した。このような大河の流れにも似た大学史を人物に即して語ろうとしたものがこの人物編である。

ヘロドトスと並んで「歴史の父」とよばれる漢の司馬遷は、中国歴史の劈頭を飾る『史記』の撰述に当たって、「紀伝体」とよばれる歴史叙述の様式を考案した。それは、編年体の帝王本記と個々の人物伝を集めた列伝。それと参考史料としての志および年代表より成る壮大な歴史記述の形式である。司馬遷は、これによって複雑きわまりない人間社会の歴史を総合的に描き出そうとしたのである。

こんどの『百年史』は、通史・人物・資料・年表という構成となり、あたかも司馬遷の紀伝体のひそみに倣

うことになったわけであるが、司馬遷が紀・伝・志・表のうち、最も大きな力を注いだのが列伝であったように、『百年史』でもこの人物編の編纂が最も困難な作業であった。これまでどの大学史でも実現できなかった理由である。ところが本学では、次のような理由によって、この困難な仕事を比較的容易にすすめることができた。それは、本学校友会の機関紙『関大』が早くから本学関係者の伝記の連載を企画し、大学史の現点に立って、関大人物誌の系統的な集成に着手していたからである。すなわち『関大』紙では、昭和四十一年九月いらい、本学年史資料編集室の協力のもとに『関西大学を築いた人々』を連載し、四十八年にはいちおうこれを完結して同名の単行本として出版したが、さらに引続いて「関西大学を彩る人々」の連載をはじめ、この企画は現在も進行中である。また本学教育後援会でも、会報『葦』で歴代学長伝や有名スポーツ選手列伝の連載をつづけてきた。本書に収めた伝記の大半は、『関大』紙および『葦』誌の連載をまとめたものであって、この貴重かつ有意義な企画を推進してこられた校友会当局および教育後援会当局に対して、あらためて深甚の敬意と謝意を表するものである。

両紙誌に連載された列伝は総数八十編以上に達したが、大学史の観点からみて、なお逸したのも少なくなかった。今回新たに三十余編の新稿を補うことになり、最も適当と思われる方々に執筆をお願いした。当委員会の意図を諒とし、比較的短時日の間に快くご成稿下さった執筆者各位にはお礼の言葉を知らない。深く感謝の意を表する次第である。

こうして集まった百十六編の伝記は、巻頭の「凡例」にも述べたように、本学史の時代区分にしたがって五部に編成し、ほぼ時代順に排列した。また編集に当っては、全体の統一を図るため、章節のわけ方、叙述の体裁などについて若干の補訂を加えた。併せて執筆者各位のご諒承を得たい。

あ　今、本書の編集を終えるに当り、刊行の由来と編纂の経過を述べるとともに絶大なご支援を賜った関係者

各位に重ねて深甚の謝意を表する次第である。

昭和六十一年十一月

関西大学百年史編纂委員会

関西大学百年史編纂委員会

委員長	大西 昭男	副委員長	横田 健一
委員	石尾 芳久	稲野治兵衛	上田 達三
	神屋敷民蔵	神堀 忍	高堂 俊弥
	田中 行雄	津川 正幸	西岡 宸
	福田 秀直	福田 保朝	村山 弘
			森本靖一郎
			米田 和代
室長	村山 弘	課長	大場 義之
			課長
室員	狩野 吉清	神屋敷民蔵	熊 博毅
	森田 由記		篠原 茂一
			日野 篤
協力	佐々木 怜子	竹間 矢子	中西みゆき
			中村 朱美

(◎印は専門委員長、○印は専門副委員長、△は専門委員、敬称略・五十音順)

人物中心の 関西大学略年表

(本略年表は、原則として本書に収めた百十六名の人物を中心とし、学長・理事長などのおもだった関係者のみに留めた。)

年 号 (西暦)	事 項	参 考 事 項
明治19年 (一八八六)	11月4日 大阪・西区京町堀の願宗寺において「関西法律学校」を創立、創立関係者には大阪控訴院長児島惟謙、同院評定官井上操、同院検事小倉久、同堀田正忠、大阪始審裁判所長大島貞敏、同判事志方鏡、同鶴見守義、同検事手塚太郎、同野村 鈔吉、吉田一士、土居通夫らがい	3月 帝国大学令公布 8月 私立法律学校特別監督条規制定
明治20年 (一八八七) 明治21年 (一八八八)	12月 校舎を東区淡路町に移転 4月 北区河内町の興正寺に校舎移転 1月 児島惟謙および大阪始審裁判所検事正犬塚盛巍に本校監督を委嘱、有田徳一に会計監督を委嘱 10月 児島惟謙、犬塚盛巍、大島貞敏、岩原性一を商議員に、藤田伝三郎を評議員に推薦	5月 特別認可学校規則制定
明治22年 (一八八九)	4月 ボアソナード博士来校 5月 校長事務監督に水上長次郎が就任 9月 興正寺において第一回卒業式(卒業生十七名)を挙行、当日文部大臣榎本武揚ら出席	2月 大日本帝国憲法公布
明治23年 (一八九〇)	5月 校長事務取扱に有田徳一、幹事に垂水善太郎、会計監査に岩原性一が就任	10月 教育勅語発布
明治24年 (一八九一)	11月 臼井憲徳に会計監査を委嘱	5月 大津事件
明治26年 (一八九三)	12月 司法省指定学校として認可	8月 日清戦争
明治27年 (一八九四)	10月 有田校長日清戦争に出征、垂水幹事校長事務を代行	
明治28年 (一八九五)	7月 教務評議員会を新設、委員に河村善益、掛下重次郎、鶴 丈一郎、渋川忠二郎、砂川雄峻を委嘱	
明治29年 (一八九六)	2月 校長に一瀬勇三郎が就任 1月20日野村鈔吉没40歳 1	

明治30年 (一八九七)	12月 校友会発足	
明治31年 (一八九八)	9月 校長に加太邦憲が就任	
明治33年 (一九〇〇)	7月 社団法人の設立認可 理事・校長に加太邦憲、監事に稲垣虎二郎が就任	
明治34年 (一九〇一)	7月 定款を變更し、名称を「私立関西法律学校」とする	
明治36年 (一九〇三)	11月 監事に砂川雄峻が就任	
明治37年 (一九〇四)	11月 専門学校令による「専門学校」として設立認可	3月 専門学校令公布
明治38年 (一九〇五)	興正寺から江戸堀新校舎に移転	
明治39年 (一九〇六)	8月 経済学科を増設	2月 日露戦争
	1月 「社団法人 私立関西大学」と改組改称、学長に加太邦憲が就任	
	7月 教頭に高根義人が就任	
	11月 学長・理事に河村善益が就任	
	2月23日井上操没57歳	
	7月 学長・理事に古荘一雄、監事に柿崎欽吾が就任	
	9月 商業学科を増設	
	10月 校友会発足	
	12月 福島新学舎竣工、移転	
	11月4日小倉久没54歳	
	2月 織田萬が教頭、関根稔が副幹事に就任	
	7月1日児島惟謙没71歳	
明治40年 (一九〇七)	6月 古荘理事、柿崎監事が再任	
明治41年 (一九〇八)	5月 古荘理事、柿崎監事が再任	
明治42年 (一九〇九)	8月 古荘理事、柿崎監事が再任	
明治45年 (一九一二)	8月 関西甲種商業学校設立認可	
大正1年 (一九一二)	4月 関甲開校	
大正2年 (一九一三)	5月 古荘学長が辞任し、学長・理事に齋藤十一郎が就任	
	6月 関甲校長に齋藤十一郎が就任	
	12月 関甲名譽校長に古荘一雄、同校主事に垂水幹事が就任	
大正3年 (一九一四)	12月 垂水が幹事を辞任、岡村司が理事に就任	
大正4年 (一九一五)	5月 柿崎監事が再任	
	12月 第一回留学生として岩崎卯一・原田鹿太郎を海外に派遣	
		7月 第一次世界大戦
		32年8月 私立学校令公布
		7月 明治天皇没(30日)
		大正と改元

大正5年(一九一六)	3月 関甲第一回卒業式を挙行(卒業生七十三名) 30周年記念式典を挙行	12月 創立
大正6年(一九一七)	6月 学長・理事齋藤十一郎再任 が就任、理事に柿崎欽吾、監事に白川朋吉が就任 居通夫没80歳	11月 ロシア十月革命
大正7年(一九一八)	4月 理事に和仁貞吉、監事に横山鑛太郎が就任	12月 大学令・高等学校令公布
大正9年(一九二〇)	島貞敏没79歳 3月 「財団法人 関西大学」に改組改称、織田学長・理事が再任、専務理事に柿崎理事が就任 6月11日齋藤十一郎没52歳	12月 国際連盟加入
大正10年(一九二一)	9月 関西大学拡張後援会が組織され山岡順太郎を会長に推薦 12月 創立三十五周年記念式典を挙行、三宅雪嶺・神戸正雄・直木倫太郎の記念講演を開催	
大正11年(一九二二)	4月 山岡順太郎が理事に就任 5月 織田学長・理事が辞任、専務理事柿崎欽吾再任、学長事務取扱・総理事に山岡順太郎が就任、宮島綱男が専務理事に就任 弘大使ポール・クロール来学講演	3月 全国水平社結成
大正12年(一九二三)	6月 大学令による「関西大学」として設立認可 拡張後援会長山岡順太郎辞任し、木村清を会長に推薦 9月 学歌を選定(服部嘉香作詞・山田耕筰作曲) 3月23日岡村司没55歳	9月 関東大震災
大正13年(一九二四)	1月 学長に山岡順太郎が就任 4月 学生歌を選定(浪江源治作詞・中村良之助作曲) 10月 男女共学制を実施(女子聴講生北村兼子が入る) 11月 第五回全国学生相撲大会で竹田繁七が優勝(第五代学生横綱)	
	4月 第二商業学校開校 6月 二商校長に山岡順太郎学長が就任 11月 大日本オリピック大会800mに岸源左右衛門が優勝 9月8日奥繁三郎没63歳 9月21日河村善益没66歳 12月30日柿崎欽吾没61歳	

大正14年(一九二五)	3月 学長に松本蒸治が就任 大学部第一回卒業式を挙(卒業生五十六名) 5月 柿崎死去により松本蒸治、喜多村桂一郎が理事に就任 11月 専務理事兼教授宮島綱男、仏政府よりオフィシユ・ダカデミー勲章を受章 1月15日渋川忠二郎没70歳	5月 普通選挙法公布 7月 ラジオ放送開始
大正15年(一九二六)	1月 吉田一士、井上操、有田徳一、小倉久、北島治房、福原直道、斎藤十一郎、岡村司、渋川忠二郎、柿崎欽吾、河村善益のために本学功労者追悼会を開催 8月 千里山大運動場竣工 10月 クラブ・ハウス竣成(現以文館) 創立四十周年記念式典を兼ねて第一回大学祭を開催	12月 大正天皇没(25日) 昭和と改元
昭和1年(一九二六)	3月 大学部本館竣成(千里山) 6月 昇格五周年記念式典を挙行 10月 喜多村理事が専務理事に就任 11月 宮島専務理事辞任、垂水善太郎が専務理事補助に就任 12月 増山忠次が専務理事に就任	3月 金融大恐慌
昭和2年(一九二七)	3月 松本学長辞任 4月 仁保亀松が学長に就任 千里山に図書館竣成 6月 仁保亀松学長が理事に就任 神戸正雄教授が「租税研究」で学士院恩賜賞を受賞 11月26日山岡順太郎没62歳	2月 最初の普通選挙実施
昭和3年(一九二八)	2月 二商校長に内多精一が就任 4月 大学院を開設 5月 主席理事に砂川雄峻が就任 9月 天六学舎新築本館落成式を挙行、専門部、関甲、二商を福島学舎より天六学舎へ移転 11月 岩崎卯一教授、米国コロンビア大学より大学賞牌を受賞	
昭和4年(一九二九)	4月25日松村敏夫没57歳 12月4日加太邦憲没80歳	
昭和5年(一九三〇)	4月 専門部第一部(昼間部)を設置	
昭和6年(一九三一)	1月 故山岡順太郎胸像除幕式(千里山) 10月 関甲創立二十周年記念式典を挙行 1月21日志方鍛没73歳 3月24日古荘一雄没82歳 7月26日北村兼子没27歳 11月8日武内作平没64歳	9月 満州事変

昭和7年(一九三二)	7月 第十回ロサンゼルス・オリンピック大会で大島鎌吉(三段跳)三位入賞 9月 理事玉木三郎が専務理事に就任 沢山宗海により拳法部創設 6月15日一瀬勇三郎没77歳 11月19日手塚太郎没70歳	5月 五・一五事件
昭和8年(一九三三)	3月 関甲校長に垂水善太郎が就任 4月 故砂川理事の学葬 五十年史執筆を小泉幸治教授に委嘱 5月 全日本学生陸上選手権大会で藤枝(150・800m)、大島(三段跳)が優勝 2月25日後藤武夫没62歳 2月28日山口房五郎没68歳 4月15日砂川雄峻没73歳	3月 国際連盟脱退 5月 滝川事件
昭和9年(一九三四)	4月 長尾三郎が槍投日本新記録(68m59)を樹立 5月 第十回極東オリンピック大会に長尾三郎(槍投)、大島鎌吉(三段跳)優勝 9月 日米対抗陸上競技大会で大島鎌吉が三段跳の世界新記録(15m82)を樹立	9月 室戸台風襲来
昭和10年(一九三五)	5月 二商創立十周年記念式典を挙行 6月 日比対抗陸上競技会で長尾、大島、谷口陸生(200m)が優勝	
昭和11年(一九三六)	4月 予科校舎新築落成式を挙行 5月 創立五十周年記念式典を挙行 「関西大学創立五十年史」刊行 関甲、二商校長に仁保亀松が就任 関甲名譽校長に垂水善太郎が就任 9月 関甲、二商校長に小泉幸治が就任 4月6日水上長次郎没78歳	2月 二・二六事件
昭和12年(一九三七)	4月 学長に神戸正雄が就任 5月 神戸学長が理事に就任 谷口陸生が200m日本新記録(21秒1)を樹立 9月 日本学生陸上競技大会で谷口、戸上研之(走幅跳、三段跳)、福田時雄(中障碍)が優勝 12月 千里山全学生より前学長仁保亀松に胸像贈呈	7月 日中戦争
昭和13年(一九三八)	2月8日垂水善太郎没73歳 3月11日堀田正忠没78歳	
昭和14年(一九三九)	6月 故喜多村理事の学葬 11月 忠霊塔の除幕式を挙行 6月20日喜多村桂一郎没71歳 12月 鶴見守義没81歳	9月 第二次世界大戦

昭和15年（一九四〇）	3月 武田宣英からの三千円を利殖し「三百年後一億円」として寄付の申出 11月 紀元二千六百年奉祝式典を挙行	
昭和16年（一九四一）	5月 矢口家治が専務理事に就任 12月 昭和17年3月卒業予定者に対し、卒業式を行う（戦時卒業期繰上げ措置）	12月 太平洋戦争
昭和17年（一九四二）	1月 野田文一郎神戸市長就任祝賀会 3月11日武田貞之助没73歳	
昭和18年（一九四三）	6月 千里山図書館に南方文化研究所を開設 7月 山岡順太郎の胸像を供出 9月 昭和18年度卒業式を挙行（6カ月繰上げ） 10月 大学部入学式を挙行 11月 昭和19年9月卒業予定者で12月出陣のものに仮卒業式を挙行 7月28日増山忠次没62歳 9月26日仁保亀松没75歳 10月2日谷口睦生没30歳 12月13日長尾三郎没33歳 12月28日向軍治没78歳	12月 学徒出陣
昭和19年（一九四四）	3月 二商廃止 専務理事矢口家治が再任 4月 関西工業専門学校設立、人文科学研究所を開設 5月 学長事務取扱に竹田省が就任 1月23日黒田莊次郎没75歳	8月 学童疎開
昭和20年（一九四五）	6月 創立六十周年記念式典を挙行 9月 戦後はじめての授業開始 2月1日村上喜貞没60歳 4月3日西村幸生没34歳 5月26日織田萬没76歳 6月6日玉木三郎没70歳 7月23日新町徳之没68歳 10月11日内藤正知没75歳	8月 広島に原爆投下 「終戦」詔書の放送
昭和21年（一九四六）	4月 教授会で最初の学長選挙を実施 5月 学長・理事に正井敬次が就任 戦後最初の入学式を挙行 11月 忠霊塔を撤去	11月 日本国憲法公布
昭和22年（一九四七）	1月 関西工専校歌を制定（藤本浩一作詞・水野康孝作曲） 2月 監事竹田省が学士院会員になる 3月 関西工専第一回卒業式を挙行（卒業生九十二名） 関甲を転換し第一中学校を設立 4月 主席理事遠部逸太郎が学長事務取扱となる 教育後援会発足 5月 岩崎卯一が学長に就任、理事長に松本静史が就任 9月 関甲兼一中校長に矢口家治が就任 松本理事長	3月 教育基本法・学校教育法公布 4月 六・三・三・四制実施 5月 日本国憲法施行

昭和23年（一九四八）	<p>が辞任 10月 専務理事に春原源太郎が就任 12月 人文科学研究改め文化科学研究所を開設 2月26日小野村胤敏没49歳 1月 理事長に宮島綱男が就任 4月 新制大学に転換 4月 第一高等学校設立 一高兼一中校長に矢口家治が就任 新制大学第一回入学式を挙行 7月 常任監事に阿部甚吉が就任 11月 藤沢章次郎教授が最初の名誉教授となる 12月13日藤沢章次郎没72歳</p>	<p>4月 新制高等学校発足 11月 極東国際軍事裁判判決</p>
昭和24年（一九四九）	<p>3月 大学予科廃止、関甲廃止 4月 春原専務理事が辞任 6月 木村健助理事が臨時専務理事に就任 10月 大学院学舎竣成 11月 千里山体育館新築落成式を挙行</p>	<p>12月 私立学校法公布</p>
昭和25年（一九五〇）	<p>1月 木村臨時専務理事が辞任 4月 短期大学部設置 4月 新制大学院設置 短大第一回入学式を挙行 5月 理事長に宮島綱男が再任、常勤監事に阿部甚吉が就任 6月 大学院第一回入学式を挙行 7月 学長・理事に岡野留次郎が就任</p>	<p>9月 ジェーン台風襲来</p>
昭和26年（一九五一）	<p>3月 寄附行為改正認可（協議員を評議員に改称）評議員会議長に吉田音松、副議長に西本寛一が就任 専門部・関西工専有終記念式典を挙行 藤沢桓夫氏より泊園書院蔵書を寄贈 「学校法人 関西大学」に改組 4月 東西学術研究所を開設 9月 考古学研究室を開設 11月26日吉田音松没75歳</p>	
昭和27年（一九五二）	<p>3月 新制大学院第一回修士記授与式を挙行 10月 評議員会議長に中務平吉、副議長に樫本信雄が就任 11月 理事長に白川朋吉、専務理事に久井忠雄、常務監事に矢野文雄が就任 7月18日松本静史没64歳 9月1日八島治一没49歳</p>	
昭和28年（一九五三）	<p>4月 学部第二部を天六学舎に移転 一中校長に三島律夫が就任、学長事務代行に木村健助が就任 5月 秀麗寮竣成 7月 堀正人、矢口孝次郎両教授を在外視察員として欧州に派遣 11月 一高、千里山新校舎に移転 学長・理事に岩崎卯一が就任</p>	<p>2月 テレビ放送開始</p>

昭和29年（一九五四）	11月 白川理事長が大坂市より「市民文化賞」、石浜純太郎教授が大坂府より「なにわ賞」を受賞。2月26日竹田省没73歳 10月8日松本丞治没76歳	7月 自衛隊発足
昭和30年（一九五五）	4月 一高夜間課程有終記念式典を挙行 11月 第一学舎落成式を挙行 創立七十周年記念式典を挙行 「関西大学七十年小史」刊行	8月 第一回原水爆禁止世界大会開催（広島）
昭和31年（一九五六）	3月 「関西大学七十年史」刊行 10月 理事長に白川朋吉が再任 天六学舎体育館開館式を挙行 11月 末永雅雄教授が大坂府より「なにわ賞」を受賞 板橋菊松が東京連絡本部長に就任 4月20日坂本憲三没64歳	12月 国際連合加盟
昭和32年（一九五七）	4月 一高校長に三島律夫が就任 10月 第二学舎二号館落成式を挙行 11月 第一中学校新校舎竣工、一中を天六から千里山に移転 10月11日武田宣英没87歳	
昭和33年（一九五八）	3月 岩崎学長が辞任 4月 岡野留次郎が学長に就任、工学部を設置、天六学舎で開講 経済・政治研究所を開設	3月 関門トンネル開通
昭和34年（一九五九）	3月 短期大学部廃止 7月 岡野学長が辞任 8月 矢口孝次郎が学長に就任、白川理事長が辞任、神宅賀寿恵が理事長に就任 1月22日内藤正剛没75歳 10月16日神戸正雄没82歳	1月 メートル法施行
昭和35年（一九六〇）	9月 第四学舎竣工、工学部、千里山学舎へ移転 10月 理事長に三好萬次が就任、専務理事に久井忠雄が再任、常任監事に長柄金吾が就任 11月 創立七十五周年記念式典を挙行 3月1日松山藤雄没84歳 3月9日野田文一郎没88歳 6月8日岩崎卯一没68歳	6月 新安保条約成立
昭和36年（一九六一）	11月 第一回千里祭開催 一高・一中創立五十周年記念式典を挙行	
昭和37年（一九六二）	9月17日下條小野右衛門没72歳 3月 誠之館竣工 7月 矢口学長が辞任 8月 中谷敬寿が	8月 堀江謙一ヨットで太平洋

昭和38年（一九六三）	<p>学長に就任 11月 白川顧問が大阪府より「なにわ賞」、末永雅雄教授が大阪市より「市民文化賞」を受賞 1月1日山田松太郎没63歳</p> <p>3月 千里山体育館竣成 6月 三好理事長が辞任、久井専務理事が理事長に就任 1月30日白川朋吉没89歳</p> <p>1月 工業技術研究所開設 9月 専門図書館竣成 10月 理事長に久井忠雄が再任、評議員会議長に榎本信雄、副議長に今井康兼が就任 第十八回東京オリンピック大会で大島録吉が日本選手団長となる 11月12日神宅賀寿恵没71歳</p>	<p>横断</p> <p>10月 東海道新幹線開業 第18回オリンピック大会 開催（東京）</p>
昭和40年（一九六五）	<p>7月 中谷学長が辞任 8月 森川太郎が学長に就任 10月 常務理事に今井康兼が就任 関西大学会館竣成 11月 創立八十周年記念式典を挙行 3月26日宮島綱男没80歳 4月3日安井栄三没71歳 5月6日長柄金吾没59歳 7月10日御園生崇男没49歳 10月4日内田重成没97歳 11月7日大川光三没66歳</p> <p>5月31日高垣善一没68歳 10月31日岸源左右衛門没64歳</p> <p>4月 社会学部設置、視聴覚教室を開設 9月 森川学長が辞任 凱風館竣成 10月 中谷敬寿が学長に就任 評議員会議長に吉田鹿之助、副議長に村上精三が就任 7月30日三好萬次没74歳</p>	<p>5月 中国文化大革命</p>
昭和41年（一九六六）	<p>10月 久井理事長が三選、今井常務理事が再選、吉田評議員会議長が再任、副議長に吉田一郎が就任 2月11日石浜純太郎没79歳 8月18日武田蔵之助没85歳 10月27日中山幸市没67歳</p>	<p>4月 小笠原諸島返還協定調印</p>
昭和42年（一九六七）	<p>11月15日北村徳太郎没82歳</p> <p>1月 社会学部学舎を封鎖 3月 北斗寮竣成 6月 関大会館を封鎖、以後学園内に紛争拡大 9月 中谷学長が辞任、明石三郎が学長事務代行となる 10月 郵送による学長代行選挙の結果、広瀬捨三が就任 5月24日春原源太郎没62歳</p>	<p>7月 郵便番号制度実施</p> <p>5月 フランス五月革命</p> <p>7月 米アポロ11号、人類初の月面着陸に成功</p>
昭和43年（一九六八）		
昭和44年（一九六九）		

昭和45年（一九七〇）	10月 広瀬学長代行が学長に就任 7月29日原田鹿太郎没80歳 3月 電子計算機室を開設 11月 創立八十周年記念碑「和」の 除幕式を挙行 8月1日西本寛一没69歳	3月 万国博覧会開催（大阪）
昭和46年（一九七一）		
昭和47年（一九七二）	3月 網干善教教授ら飛鳥高松塚古墳から極彩色の壁画を発見 10月 久井理事長が四選、今井常務理事が三選、評議員会議長 に安富敬作、副議長に大森俊次が就任 5月27日山錦善治郎没 74歳 6月11日鳥海青児没70歳	2月 第11回札幌冬期オリンピ ック開催 5月 沖繩復帰、沖繩県が発足
昭和48年（一九七三）	9月 広瀬学長任期満了 10月 明石三郎が学長に就任 4月22日矢口家治没82歳 5月19日松尾高一没84歳 7月25日 桂忠雄没79歳	
昭和49年（一九七四）	4月 部落問題研究室を開設 2月26日森川太郎没72歳 11月 22日谷岡登没79歳	5月 大阪市が「関西法律学校 発祥の地」の碑を建てる
昭和50年（一九七五）	4月 飛鳥文化研究所・植田記念館を開設 11月 創立九十周 年記念式典を挙行 5月10日服部嘉香没89歳 9月17日三木治 没69歳	7月 沖繩国際海洋博覧会開催
昭和51年（一九七六）	4月 一般教育等研究センターを開設 慰霊碑の除幕式を挙行 9月 明石学長任期満了 10月 中義勝が学長に就任 久井理 事長が五選、今井常務理事が四選、評議員会議長に羽賀一郎、 副議長に森正治が就任 1月11日中務平吉没90歳 3月25日水 谷揆一没90歳 4月17日浪江源治没72歳 8月25日岡野衛士没 77歳	
昭和52年（一九七七）	9月27日沢山宗海没70歳	
昭和53年（一九七八）	4月 羽賀議長死去により森副議長が議長に、副議長に中沢俊 雄が就任 8月6日福島四郎没75歳 8月28日上道直夫没74歳 10月26日池田信之助没74歳 11月12日矢口孝次郎没75歳	
昭和54年（一九七九）	9月 中学長任期満了 10月 大西昭男が学長に就任 4月13 日正井敬次没95歳 10月18日木村健助没85歳 11月25日岡野留	1月 国公立大学の共通一次試 験実施

昭和55年（一九八〇）	<p>次郎没88歳 12月20日大小嶋真二没80歳 12月29日竹田繁七没77歳</p> <p>9月 今井常務理事が辞任 10月 久井理事長が六選 評議員会議長に佐々木砂夫、副議長に宇津呂雄章が就任 11月 創立九十五周年記念式典を挙行 1月25日中谷敬寿没79歳 4月13日大月伸没83歳 7月11日大石雄一郎没83歳 12月19日太田難一没77歳</p> <p>3月 常務理事に稲野治兵衛が就任 11月 稲野常務理事が副理事長に就任 2月19日矢野兼三没84歳 7月30日阿部甚吉没74歳</p> <p>4月 情報処理センター（電子計算機室を改組改称）を開設</p> <p>10月 大西学長が再選 2月11日志村喬没76歳 3月7日今西庄次郎没80歳 8月28日田中晋輔没89歳 11月23日藤本浩一没79歳</p> <p>2月 学内への自動車・バイク乗入全面禁止 1月23日板橋菊松没94歳 7月3日戸根泰雄没74歳</p> <p>9月 総合図書館・情報処理センター竣成 10月 久井理事長が七選、稲野副理事長が再選 佐々木議長及び宇津呂副議長共に再選 10月14日香坂要三郎没87歳</p> <p>6月 人権問題研究室（部落問題研究室を改組改称）を開設</p> <p>10月 大西学長が三選 3月30日大島謙吉没76歳</p> <p>6月 大庭脩教授が「江戸時代における中国文化受容の研究」で学士院賞を受賞 11月 創立百周年記念式典を挙行 「関西大学百年史通史編上」、「同人物編」、「関西大学百年のあゆみ」刊行</p>
昭和60年（一九八五）	<p>3月 青函トンネル本坑貫通</p>
昭和59年（一九八四）	<p>8月 臨時教育審議会設置</p>
昭和58年（一九八三）	
昭和57年（一九八二）	
昭和56年（一九八一）	
昭和61年（一九八六）	

